



小学部 【重複障害学級】	
題材・教材名【ストラックアウト／スピードタッチ】	
領域・教科【生活単元学習】	
ね ら い	<b>ストラックアウト</b> ①ボールを投げる動作を身につける ②数字に親しむ
写 真	 <p>パネルは面ファスナーで裏表付け替えることができるようになっており、数字パネルか○パネルで使い分けることができる。</p>
教 材 使 用 方 法 ・ 手 順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体カテストの事前学習として活用する。</li> <li>・ボールの当たったパネルの数字で友達と競ったり、複数当たった場合は足し算をしたりする。</li> <li>・数字の理解が難しい児童においては、○の数で「多い・少ない」を感じ、友達と競う。</li> <li>・重複障害学級では、「1:キャスターカー、2:回転たらい…」などパネルごとに児童の好きな活動を設定し、乗り物遊びをした。</li> </ul> <p>※このように、使い方はアイデア次第。</p>
児 童 ・ 生 徒 の 様 子 な ど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・握ったボールをなかなか放すことができない児童もいたが、目的物に向かって投げる練習になった。</li> <li>・投げる力の弱い児童は、かなりパネルに近づいてボールを当てる形で行ったが、自分の力でパネルが外れると嬉しそうな様子が見られた。</li> </ul>
	<b>スピードタッチ</b> ①目と手の協応動作 ②相手との物を介したやりとり
	 <p>こちら側から教師が棒を押し出す。</p> <p>素早く押し返す。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛び出てきた棒（パネルの反対側から教師が押す）を、素早くタッチして押し返す。</li> <li>・タイマーが鳴るまでに、何回押し返すことができるかを競う。</li> <li>・友達とのやりとりができる児童は、先生役をやっても良い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の様子や音で気が散りやすい児童に、一定時間ものを注視することや、集中して何かを達成することを経験してもらいたいと思ったのがきっかけで作った教材である。</li> <li>・教師が棒を出すときに、「次はどこでしょう〜…」とあえてためたり、次々と素早く出したりと強弱をつけることで、よく見て取り組むことができた。</li> </ul>